



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは希望をもたらす

1986~'87 R.I 会長 M.A.T. カバラス

藤田会長 クラブターゲット

楽しく集う ロータリー

第 414 回 例会 61 年 9 月 25 日 第 420 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
49名	43名	87.76%	100%

欠席者 (6名)

橋本, 石渡, 神作, 木村, 小島, 三浦

本日のプログラム 10月 2日

金井大輔君「米山記念奨学会について」

次週予定 10月 9日

クラブフォーラム「職業奉仕について」

司会 SAA 近藤富士男君

ソングリーダー 前原一男君「我等の生業」

ゲスト

菊池清光氏 (大和市福祉課庶務係長)

藤塚勝明氏 (クラブ)

ビジター

岡本幸夫君 (名古屋空港) 神山孝雄君 (東京町田)

星 幸男君, 川島熊平君, 河野重康君

堀 一君 (大和)

福田武辯君, 濱畑勝彦君, 佐藤 敬君

幕田浩一君 (大和田園)

《会長報告》

○地区拡大増強セミナーについて (内容別掲)。

○第2回炉辺会合に対する謝意。

《幹事報告》

○財県央療育センター「ふきの塔舎」第11回バザーへの協力依頼。

○「赤い羽根募金」実施案内が共同募金会よりきています。

○「会員名簿」「アルバム」の持ち帰りと、駐車場でのステッカーの表示重ねてお願いします。

○次週例会間違いのないよう願います。

○本日の会場に、天皇在位六十年記念企画の展示が「すめらぎ」より見えています、ご案内。

《委員会報告》

○ロータリー財団 (亀谷) 奨学生の募集要領が届きますが、心当りのられる方は予め事務局の高橋さんまでにご一報下さい。

○音楽同好会 (北砂) サントリー・ホールの半期スケジュール表を戴きました、回覧しますのでご利用下さい。

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所: 大和中央1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場: 大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日: 毎週木曜日12時30分より
会長: 藤田重成
会長エレクト: 富沢重徳
副会長: 有沢昭二
幹事: 土屋翁三
会報委員: 二見・前原・小林

お 祝

おめでとうございます！

8年皆出席 上田利久君
6年皆出席 中西 功君
3年皆出席 小島健一君
お誕生日 前原一男君 (9月28日)
御夫人誕生日 古郡 清君京子夫人(9月28日)
創業記念日 竹本正俊君 (10月1日)

《スマイルボックス》 委員長 後藤定毅君

神山孝雄君 お世話になります。

星 幸男君 天高く星肥ゆる季節と成りました。

皆様お元気でなによりです。当病院の完成は11

月中旬です。大和中R C会員には無料診療を実

施致します。(但し健康保険証をお忘れなく!!)

川島熊平君 いよいよ秋到来です。皆様ご機嫌い
かがですか。本日はお世話になります。

河野重康君 御世話になります宜しく。

堀 一一君 御世話になります。

佐藤 敬君 又、お世話になります。

濱畑勝彦君 今日もお世話になります。

福田武辯君 毎度御世話に成ります、宜しく。

幕田浩一君 若かりし頃の甘い思い出に胸が痛む
季節ですね、本日はお世話になります。

上田利久君 昨年9月一寸ピットイン(入院)し
ましたが8年皆出席ということ、ゆっくりと頑
張りますよ、アリガトウゴザイマス。

中西 功君 皆出席6年目お祝いただき感謝し
ます、“出席してこそ全てを解決”今後ともよ
ろしくご指導願います。

前原一男君 誕生日を祝って頂き有難うございま
す、皆様のご指導の基、健康に留意して頑張り
ます。今後とも宜しく願います。

古郡 清君 家内の誕生祝ありがとうございます。
ますますみがきをかけているようです。

古郡 清君 神山君、藤塚君ようこそ。

熊倉光男君 創業記念を祝って頂き有難う。

鈴木久次郎君 菊池係長、たびたび卓話ありがと
うございます。

高橋政勝君 菊池係長、前回に引続いて卓話をい
ただきありがとうございます。

藤田重成君 19日の炉辺会合には多く集って「仲
よく語ろうロータリー」(上田年度テーマ)を
展開され、又前掛姿で土屋、近藤さん終始ご苦
労様でした。

猪熊唯夫君 盛大に炉辺会合が出来ました、あり
がとうございました。

炉辺会合出席者一同 ほとんど全員に近い方々、
仲間同志と大和中R C始って以来の炉辺会合2
度とない体験をする事が出来ました。情報委員
長ありがとうございました。

松本三郎君 先日の炉辺会合には出席委員長自か
ら欠席し申し訳ありません。紹介者の親が悲し
んでいたとの風のたよりでスマイルにておわび
致します。

「地区拡大増強セミナー」に参加して

会長 藤田重成君

今日19日、横浜駅東口スカイビル8階で開かれ、
伊藤会員増強委員長と二人で出席しました。

内容は、1) 拡大の必要性について、2) 会員
増強の必要について、3) 職業分類と会員増強に
ついて、4) 質か量かについて、のプログラムに
より地区拡大増強委員の方が夫々15分位のお話し
の後、質疑応答がなされました。特に印象に残っ
た事柄は、「質か量か」という問いかけは余り心
地よいものではないという発言と、理想的な会員
数は?との問いには259地区の平均会員数は55.6
名であることを知ったことです。

当日のリーダーは、R I 拡大増強委員の蔵並P
Gはじめ夫々の方が、ガバナーの今年度方針は3
%の純増であること、無理のないところで常に増
強をされ度い、増強なくしては衰亡あるのみ、拡
大増強に或る価値を見い出して頂き度い等の旨強
調されていました。

《卓 話》

「大和市の福祉行政について」（その2）

—— 高齢化社会への対応 ——

菊地 清光氏

昭和60年の国勢調査を基にした新たな将来人口推計が先月23日に新聞報道されましたが、それによりますと昭和95年(西暦2020年)には、前回国勢調査推計よりも老人人口は400万人増え、約3,200万人で総人口に占める割合は23.5%にも達するものと予測されています。これは前回の“5人に1人の割合でお年寄り”から“4人に1人”に修正され、さらに厳しい社会の“超高齢社会”の到来を示唆しています。

こうした状況を踏まえて、前回お話ししたように国では、年金や医療制度の改革を始め雇用や住宅等幅広い対策を進めようとしています。例えば、住宅については資料にありますように建設省ではお年寄りが生活しやすい住宅の開発研究、通産省では昭和67年を目指しスペイン・ポルトガル・カナダ等の海外シルバー村の“シルバー・タウン”計画を推進していくなど各省庁でその対応策を模索しています。

本市の老人人口は、今年の4月1日限で10,745人で総人口に占める割合は6%であり、国の10.24%や県の7.3%に比べてまだ“若い市”といえますが、将来の高齢化への進行テンポは、欧米諸国より2～3倍早いといわれている国のスピードよりさらに早いスピードで推移していくものと予測され、その対応は急務とされています。

また、昨年10月に市社会福祉協議会が実施した老人生活実態調査によれば、市内にはひとり暮らし老人が352人、寝たきり老人が96人、老夫婦世帯が332世帯ありそれぞれの実態が報告されていますが、いずれも緊急時の対応や不安等の問題点を数多く抱えており、その対応策が必要とされています。特に近年では、従来の施設入所中心の福祉対応から在宅福祉対応中心へと質的転換がはか

られ、心身の障害や家庭環境の変化があっても高齢者がその希望に基づき永年住みなれた地域で生活できる社会がノーマルな社会であり、その支援システムを構築することが早急に必要と考えられています。

在宅老人福祉対策は、高齢者個々の福祉ニーズに対応するために昨今多様化・充実化が計られ、例えば、本市では市内の特別養護老人ホーム敬愛寮や晃風園等の協力を得て寝たきり老人の入浴サービスや、一時入所(ショートステイ)あるいはデイ・サービス等を実施し、高齢者自身はもとより、家族を支えるうえで大きな役割を果たしています。しかし、今後ますます増大が予測される福祉サービスを必要とする高齢者が安心して地域で生活できることを可能とするため、福祉と保健・医療の公的サービスの総合化とともに、地域における福祉施策の諸機能や民間団体による諸活動など、地域福祉の充実が行政によるサービスのみによって実現し得るものではなく、地域社会において、住民自身や民間団体の自主的な参加と協力があるいはじめて可能であろうといえます。こうした点で、資料にもありますように市医師会による活動や、皆様方のクラブあるいは住民自身の意志に基づく「できるときに」・「できるところで」・「できることを」始められるボランティア活動は今後ますます重要な意味を持つてくると思います。

こうした考えのもとに市では、まず、福祉と保健・医療の総合化が必要と考え、数年前より他市に先がけ行政組織の一元化をはかり、今年度よりその基盤施設としての保健福祉センターの建設に着手し、昭和63年4月オープンを目指しています。

このセンターは、資料にもありますように1、2階を保健センターとし市民の健康と予防を推進し、併せて2階には障害者や老人のリハビリを中心とした障害者の療育センターを配置し、3階には老人の憩いの施設として老人福祉センターを、4階には地域福祉センターとしてボランティア・

センターや市社会福祉協議会等を配置し、保健と福祉がドッキングした総合システム推進の拠点とするつもりであります。

先に申しあげましたように、21世紀における日本の超高齢化社会への対応は、行政のみだけでな

しうるものでなく、皆様方のご理解とご支援によって出来るものと確信しております。

——豊かな高齢者社会を

皆様とともに築いていきましょう——

大和中 R C

INFORMATION

1986. 9. 18

会員増強委員会

本年度会員増強推進のため下記のようなプロジェクトチームを作りました。各チーム最低1名の新会員を推薦して頂きたく、ご協力をお願いいたします。

会員増強プロジェクトチームメンバー表

* 敬称略 *

◎有沢チーム

有 沢 昭 二
芦 田 敬 治
潘 桂 柳
藤 田 重 成
古 郡 清

◎古川チーム

古 川 巖
古 木 勝 治
布 施 光 雄
二 見 長 幸
後 藤 定 毅

◎原田チーム

原 田 穆
長谷川 清 一
橋 本 健 彦
飯 島 順一郎
猪 熊 唯 夫

◎石渡チーム

石 渡 英二郎
伊 藤 英 夫
岩 田 一 夫
亀 谷 志 郎
神 作 彰

◎金井チーム

金 井 大 輔
加 藤 好 秋
菊 地 康 公
木 村 誠 二
北 砂 富 三

◎小林チーム

小 林 勇
児 玉 清
古田土 勝 美
近 藤 富士男
小 島 健 一

◎熊倉チーム

熊 倉 光 男
前 原 一 男
松 本 三 郎
松 本 忠 明
松 崎 正 実

◎長野チーム

長 野 俊 八
三 浦 泰 之
中 西 功
清 水 洋 三
鈴 木 久次郎

◎高橋チーム

高 橋 政 勝
竹 本 正 俊
寺 田 伍 六
富 沢 重 徳
(千田)

◎土屋チーム

土 屋 翁 三
辻 国 明
上 田 利 久
上 村 幹 雄
山 中 忠 誠

※各チーム毎に作戦会議を開き新会員候補者を推薦し、その中から入会の可能性のある方を増強委員会へご報告下さい。情報委員会等と協力して入会までのお手伝いを致します。